

教科教育専攻

保健体育専修

初等教育履修分野 / 中等教育履修分野

学びのポイント

1 少人数指導による学習の深まり

それぞれの専門の授業は、少人数制で展開されるので、充実した教育を受けることができます。卒業論文の作成においても、1教員が2~4名の学生を担当するので、中身の濃い研究指導を受けることができます。



2 副免許、資格取得

カリキュラム上、小学校教諭、中学校・高等学校の保健体育教諭、さらには養護教諭の免許や、日本体育協会認定「スポーツリーダー」、教育支援人材認証協会「こどもサポーター(バルシューレ)」の資格が取得できます。

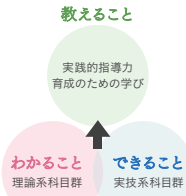
3 スポーツ指導経験の重視

生涯スポーツ振興という広い視野をもつ保健体育教員を育成するために、スポーツ指導方法論や地域スポーツ実習の授業では、近隣の地域スポーツクラブや本学公開講座の子どもボール教室で指導をしています。

学びの領域

確かな保健体育の「理論と実技」に基づく「実践的指導力」を習得します

上図の3つの領域の学びから、保健体育やスポーツの社会的教育的重要性や学問としての体育・スポーツの価値を自らの身体を通して認識することができます。



主な開講科目

球技(基礎) / 器械運動 / 水泳 / 表現運動(ダンス)
 体育心理学 / 運動学(運動方法学を含む)
 生理学(運動生理学を含む) / 学校保健
 体育原理 / 中等教科教育法1(保健体育)
 障害者スポーツ論 / 保健体育演習

取得できる免許状

・[初等教育履修分野] 小学校教諭一種 等
 ・[中等教育履修分野] 中学校教諭一種(保健体育) 等
 (P.8,9「取得できる免許状・資格」のページ参照)

実践的指導力のある保健体育・スポーツのプロフェッショナルを養成します。

保健体育専修の授業スケジュール

【2年生後期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限		運動学 (運動方法学を含む)				野外活動 (雪上)
3・4時限	外国語コミュニケーション(英語)P	体育・スポーツ経営学	スポーツ社会学	教育実践基礎演習		
5・6時限	中等教科教育法II (保健体育)	カリキュラム論		公衆衛生学		野外活動 (キャンプ)
7・8時限	生理学 (運動生理学を含む)	初等教科教育法(図画工作)			体育原理	
9・10時限		スポーツ医学				地域スポーツ実習



スポーツ医学

教員が知っておくべき現場に直結したスポーツ医学の知識ならびに技術を修得します。



地域スポーツ実習

総合型地域スポーツクラブにおいて、小学生にバルシューレ(基本的なボール運動)を教えることを通じて、実践的な指導力を修得します。



野外活動(雪上)

雪上での実習において、スノースポーツの安全管理や指導法を習得し、指導者としての責任の向上を図ります。



野外活動(キャンプ)

自然に親しみ、教育キャンプの知識や技能を高めるとともに、その基礎的指導法を習得し、併せて集団生活を通して人間的交流を行います。

卒業後の主な進路

過去3年間(2014年度~2016年度)の卒業生58人中、74%が就職に就いています。就職についての者の内およそ6割が正規採用、およそ4割が期限付き採用でした。また、全体の5%が大学院に進学しており、その他の卒業生は企業に就職したり公務員になりました。

教員からのメッセージ

運動の苦手な子ども達を含め、全ての児童生徒が体育・スポーツを好きになる指導ができ、学校でヘルスプロモーション(健康保持増進)を推し進めるキーパーソンとなる教員の養成を目指しています。日本代表チームをサポートし、競技能力を向上させる研究・実践を行っている教員も複数います。

教員および専門分野(平成29年5月1日現在)

- ・高橋 豪仁教授 / スポーツ社会学 生涯スポーツやスポーツイベントについての社会学的研究
- ・井上 邦子准教授 / 体育原理 スポーツ文化における身体論に関する研究
- ・笠次 良爾教授 / 学校保健・スポーツ医学 スポーツ傷害を含めた、学校園における傷害、疾病予防に関する研究
- ・高田 俊也教授 / 体育科教育 目標論に基づく授業づくりとその授業の改善のための評価論を中心とした授業の研究
- ・立 正伸准教授 / 運動学・スポーツトレーニング論 映像を用いた運動動作の分析、および筋の出力に関する研究
- ・高木 祐介准教授 / 運動生理学・応用栄養学 気象・環境条件の変化や運動がヒトの呼吸機能、体温、味覚に及ぼす影響に関する研究

Student's Voice 在学生の声

「体育好き」の子どもを育てられる教員に

保健体育専修4年生
加後 美咲さん
 (京都府立乙訓高等学校出身)



保健体育専修では、教師となり運動とスポーツの魅力を子どもたちに伝え、広めていくための学びをしています。1・2年生では実技系の科目、2年生後期からは座学で理論系の科目を学びます。実技の授業では専修の仲間と一緒に楽しく身体を動かして学ぶことができます。座学では本学の特徴である少人数教育により先生との距離が近く、各専門分野において深い学びができます。また、小学生に対してボール運動を教える実践的な授業もあり、確かな知識と実践的指導力を身につけることができます。

私は中学時代からトライアスロン競技に取り組み、競技と学業を両立させ、2016年はインカレで女子総合5位でした。運動・スポーツが好きでガッツのある方、ぜひ保健体育専修と一緒に学びましょう!